

## 編集後記

10月9日、当研究所の歩みに一方ならぬ貢献をされた炭谷昭子さんが亡くなられた。炭谷さんとは、私自身も同じフィールド(韓国)の研究者として少なからず親交があった。とりわけ私が京都に赴任する(94年)以前の10年余りは、鈴木公一さんなどと連れ立って北赤羽のご自宅にもたびたびお訪ねしてゆったりとした楽しい時間を過ごさせていただいた。済州島での遺跡地巡りを一緒にしたこともある。

研究面では、私が大学院に入った頃(70年代末)には、すでに本誌を中心に多くの論文を書かれていて、韓国経済、とりわけ農業分野では専門研究者としての地位を確立されていた。柔らかな物腰の中にもときおり芯の強さを滲ませるお人柄であった。父親を戦争で亡くされ、戦前戦後の厳しい時代を、とにかく誠実に生きてこられた人の淀みのない透明感のようなものを私はいつも感じていた。ご冥福を心からお祈りしたい。

今号では、炭谷さんへの心のこもった追悼文を、藤田・河合の両理事、そして芝田貞子さんに書いていただいた。崔之元論文は、マルクス主義社会思想の新展開としてその精力的な理論活動が国際的にも注目されている中国人研究者の論考の翻訳である。小ブルジョア階級を社会主義の核心階級とする崔論文は、社会科学全般にかかわる斬新な問題提起として注目される。岡野内論文は、前号に続いてグローバル資本主義の正当化危機と階級支配の仕組みや本質を明らかにする論文の後半にあたる。岡野内理事の幅広い資料を読み込んだ精力的な理論活動にも頭の下がる思いである。

本研究所創立60周年を記念する学術懸賞論文募集の概要も決まり、その詳細についても本誌に掲載した。各方面への広報とともに、若い世代の積極的な応募を期待したい。

(2019/10/25 文 京 洙)

## アジア・アフリカ研究

2019年 第59巻 第4号(通巻434号)

2019年10月25日発行 機関購読料：年間15,000円

編集・発行人 文 京 洙

発行所 特定非営利活動法人  
アジア・アフリカ研究所

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10

Tel&Fax: 03 (3946) 1479

E-mail: aaken@bz01.plala.or.jp

URL: <http://www.aaij.or.jp/>

印刷所 三和印刷(株)  
長野県長野市川中島町1822-1

本誌上で各論考の著者がその責任において述べた意見は、特定非営利活動法人(NPO法人)アジア・アフリカ研究所としての見解を表すものではありません。

The articles in *Quarterly Bulletin of Third World Studies* do not represent the views of The NPO Corporation Afro-Asian Institute of Japan (AAIJ). Responsibility for opinions expressed in them rests with their authors.